

○計画期間：平成30年7月～令和6年3月（5年9月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点（令和5年3月31日時点）の中心市街地の概況

平成30年7月より認定基本計画に基づき、基本理念「人をつなぐ、地域をつなぐ、未来につなぐ中心市街地」のもとで各事業を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業をやむを得ず中断又は延期した。影響が長期にわたっていることにより、一部の事業は当初の計画と大きく状況が変わってしまい、事業の目的を含めた抜本的な見直しが必要となったことから、実施方法や内容の見直しを行った。

国のコロナ対策に関する基準が緩和され、訪れる観光客は国内外を問わず回復に転じたものの、感染症の影響は依然として強く残っており、完全回復には程遠い状況となっている。また、イベント等も実施はしたものの、感染症対策のために縮小して開催をしたことが多く、目標値にはまだ及ばない状況である。

一方で、空き店舗や空き家、空き地を活用して新規に事業をしようとする動きが令和2年10月頃から見られるようになり、この傾向は現在も続いている。出店希望者に対しては、創業支援補助金制度を引き続き実施し、将来のにぎわい回復の布石となることを期待している。

新町ビル跡地開発事業（中津川市ひと・まちテラス建設事業）は、令和3年10月に着工した。建築資材の納品遅延等があり、当初の計画から若干遅れたものの、令和5年5月完成、7月供用開始に向けて準備している。供用開始以降はこの施設を活用したにぎわい創出イベントを計画している。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度4月1日）

(1) 居住人口

（単位：人）

（中心市街地 区域）	平成29年度 （計画前年度）	平成30年度 （1年目）	令和元年度 （2年目）	令和2年度 （3年目）	令和3年度 （4年目）	令和4年度 （5年目）
人口	2,826	2,769	2,714	2,684	2,625	2,581
人口増減数	▲66	▲57	▲55	▲30	▲59	▲44
自然増減数	▲29	▲31	▲35	▲43	▲28	▲37
社会増減数	▲21	▲9	▲16	9	▲34	▲1
転入者数	55	56	72	64	57	71

（資料：中津川市住民基本台帳情報）

※社会増減数には職権で住民登録が抹消された数は含まれていない。そのため、自然増減数と社会増減数の合計は人口増減数と一致しない。

(2) 事業者数

(単位：件)

	平成28年度 (計画前年度)	令和3年度 (4年目)				
市全体	4,047	3,735				
中心市街地	532					

(資料：経済センサス活動調査) ※令和3年度は調査結果公開後に掲載します。

(3) 地価

(単位：円/m<sup>2</sup>)

	平成29年度 (計画前年度)	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)	令和4年度 (5年目)
中津川市平均 (商業地)	62,300	62,250	62,250	62,200	61,900	58,800
太田町2丁目 (商業地)	70,200	70,200	70,200	70,200	69,900	69,900
昭和町 (住宅地)	37,800	37,800	37,800	38,000	38,100	38,300

(資料：岐阜県地価調査)

**2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見**

新型コロナウイルス感染症の影響は強く、観光客入込み数等は若干回復しているものの、目標には遠く及ばない状況である。感染症の影響で計画時と状況が大きく変わってしまい実施困難となった事業は、切り上げてほかの事業に注力するなどの工夫をし、目標達成を目指してほしい。新型コロナウイルス感染症の分類が見直されても、完全に元に戻らないことも多くあると思うので、十分考慮すること。

中心市街地活性化の拠点となる待望の施設、「中津川市ひと・まちテラス」がまもなく完成する。この施設を建設していただけたことには心からお礼申し上げる。しかし、完成後の施設の活用についてあまり見えてこないように思えてならない。建てただけでは地域の活性化はしない。

計画終了まであと1年となったが、この困難に打ち克って中心市街地が活性化することに期待する。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
商業の活性化による吸引力の強化	新規出店数	31 店舗 (H24～H29)	50 店舗 (H30～R5)	48 店舗 (H30～R4)	B	①	①
観光客を惹きつける資源活用の強化	特定施設等 観光客入込数	123,000 人/年 (H28)	149,200 人/年 (R5)	82,724 人/年 (R4)	C	①	②
市民の居場所や活動の場所としての魅力の強化	都市福利施設利用者数	322,566 人/年 (H28)	430,000 人/年 (R5)	204,280 人/年 (R4)	C	②	②
	歩行者通行量	4,525 人/日 (H29)	5,062 人/日 (R5)	3,944 人/日 (R4)	C	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる。

②目標達成が見込まれない。

関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、それぞれ1、2とする。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### (1) 「新規出店数」について

主に空き店舗対策事業及び空き店舗活用支援事業により出店者を支援している。新規出店しようとする動きは市内全域でみられ、令和4年度は3件出店した。新規出店の動きは続いており、目標達成できると見込んでいる。

#### (2) 「特定施設等観光客入込数」について

岐阜県の新型コロナウイルス非常事態宣言があり、施設の一時閉鎖や受入れ制限の実施、イベントの中止が相次ぎ、来場者数は少ない状況が続いている。令和3年度と比較すると回復に向かっているものの、回復量は予想よりもかなり少ないため、目標達成は非常に厳しい状況である。

#### (3) 「都市福利施設利用者数」について

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の開放中止・開放時間短縮等があり、どの施設も利用者数が少ない状況が続いている。市民交流プラザ（ひと・まちテラス）は予定どおり完成、供用開始できる見込みであるため、その効果に期待しているところもあるが、感染症の影響は根強く、目標達成は厳しい状況である。

(4) 「歩行者通行量」について

岐阜県の新型コロナウイルス非常事態宣言期間中の調査だったこともあり、予想を下回る結果となったが、令和3年度からは回復した。令和5年度は、市民交流プラザ（ひと・まちテラス）が完成、供用開始となり交通量の増加を見込んでいる。

### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

(1) 「新規出店数」について

前回から変更はない。

(2) 「特定施設等観光客入込数」について

新型コロナウイルスに対する規制が緩和され、イベント等が再開されれば感染症発生前の水準に戻る(①)と判断していたが、感染症の影響が思いの外長期にわたり、イベント等を再開したもののその影響は強く、十分な回復が見込めないため(②)と評価した。

(3) 「都市福利施設利用者数」について

前回から変更はない。

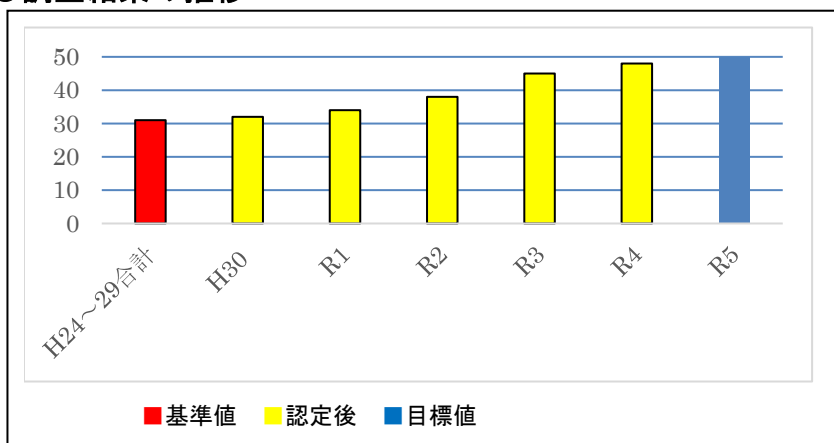
(4) 「歩行者通行量」について

前回から変更はない。

### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「新規出店数」※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 6 7 参照

#### ●調査結果の推移



年	(店舗)
H24~29	31
合計	(基準値)
H30	32
R1	34
R2	38
R3	45
R4	48
基準値	50
+H30~R5	(目標値)
合計	

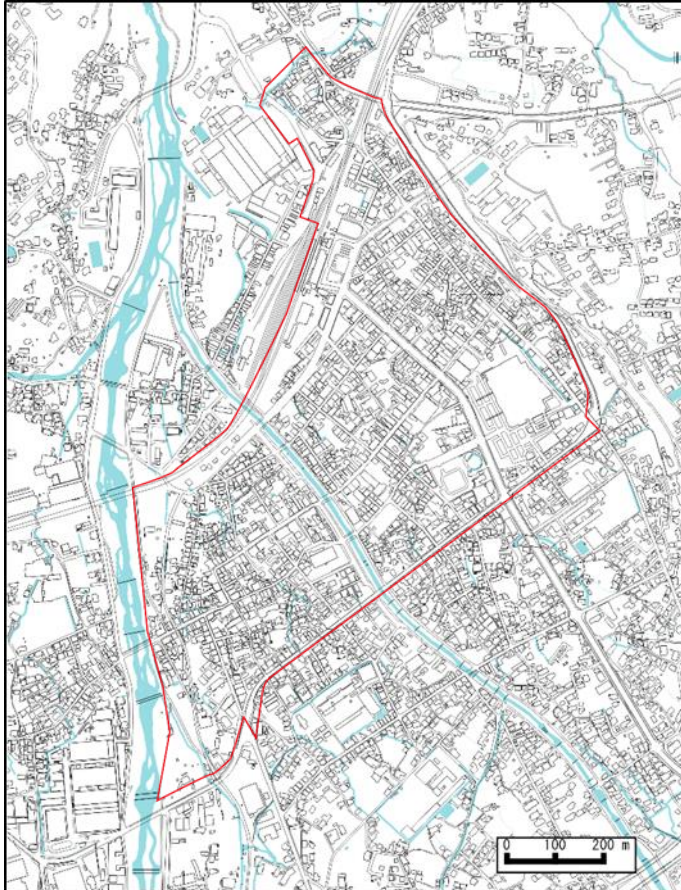
※調査方法：市及び商工会議所が関わった支援の結果、出店に結びついた者の集計

※調査月：毎年3月末

※調査主体：中津川市、中津川商工会議所

※調査対象：中心市街地での出店者

●調査地点図 (中心市街地全域が対象)



(単位：件)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
空き店舗活用	3	0	0	0	1	0
空き店舗活用支援	3	1	2	4	5	3
歴史的資産を活用 した町家再生	0	0	0	0	0	0
トライアルショップ	0	0	0	0	1	0
合計	6	1	2	4	7	3

<分析内容>

まちづくり会社が管理する「空き店舗データベース」を更新したことと、令和 2 年度に創設した市の「創業・第二創業支援補助金」の効果により、新規出店が促進されたが、令和 3 年度と比較すると自宅を改装して事業を始めようとした方が多く、中心市街での出店は減少した。また、まちづくり会社の旧事務所を改装し、小規模事業者を対象としたトライアルショップを兼ねたレンタルオフィスも需要があるが、入居者が中心市街地内の空き店舗で出店した事例はまだない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 空き店舗対策事業（まちづくり会社・民間団体）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中心市街地に存在する空き店舗や所有者の調査を行いながら、所有者と出店希望者を結び付ける。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】12件（累計）（空き店舗活用支援事業と合わせた数値） 【最新値】16件（累計）（空き店舗活用支援事業と合わせた数値） 令和元年度に実施した空き家等現況調査を基に作成した地図を活用し、出店希望者のニーズに合わせた情報提供ができるようになった。また、令和3年度にデータを更新し、1件出店させることができた。令和4年度もデータベースを更新し、2年ぶりに「空き店舗ツアー」を令和5年3月実施し4名の参加があった。
事業の今後について	「空き店舗ツアー」を今後常設化するなど改善し、出店希望者と空き店舗等所有者を結びつけ、新規出店を促進させる。

②. 空き店舗活用支援事業（中津川市）

事業実施期間	平成29年度～令和5年度【実施中】
事業概要	空き店舗を活用して出店する場合に、改修費用等の1/2を上限として最大50万円を補助する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】12件（累計）（空き店舗対策事業と合わせた数値） 【最新値】16件（累計）（空き店舗対策事業と合わせた数値） 出店時の改修費用等の一部を補助することで、事業者の軽減を図るとともに創業実現の促進を図り、空き店舗を解消する。 令和4年度にこの補助制度を利用した出店は3件あった。
事業の今後について	令和2年度に創設した創業支援補助金の活用も含めて、引き続き出店者を増やす。

③. 歴史的資産を活用した町家再生事業（まちづくり会社・中津川市・商工会議所・商店街ほか）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用することで、滞在、滞留する観光客数の増加を図る。
国の支援措置名	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略

及び支援期間	事業)のうち調査事業(経済産業省)(平成30年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】5件(累計) 【最新値】0件(累計) 町家に関して、令和元年度に地域住民並びに市内宿泊施設利用者(日本人・外国人両方)を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査としてアンケートを実施。結果、カフェのニーズが高いことがわかり、令和2年度より物件選定に向けた調査を開始する予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、令和4年度まで中断した。
事業の今後について	感染症の状況を見ながら早期に事業再開する。 一度立ち消えとなっていたが、再び町家を購入して飲食店を出店しようとする民間事業者が出現したため、動向を注視するとともに、必要な支援を検討する。

#### ④. トライアルショップ事業(まちづくり会社)

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちづくり会社が休業日の店舗等を借り受けてトライアルショップとして活用することで、新たな出店希望者の掘り起こしと新規出店に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】2件(累計) 【最新値】1件(累計) まちづくり会社の旧事務所を改装し、レンタルオフィス(トライアル企業として短期間のレンタルも可能)として小規模事業者に貸し出しを令和4年2月より開始。現在も6区画中4区画に入居があり、空き区画も引き合いがある状況が続いている。もう1件、トライアルショップにできそうな空き店舗を探したが、令和4年度中に見つけることができなかった。
事業の今後について	引き続き中心市街地内でトライアルショップに活用できそうな店舗を模索する。

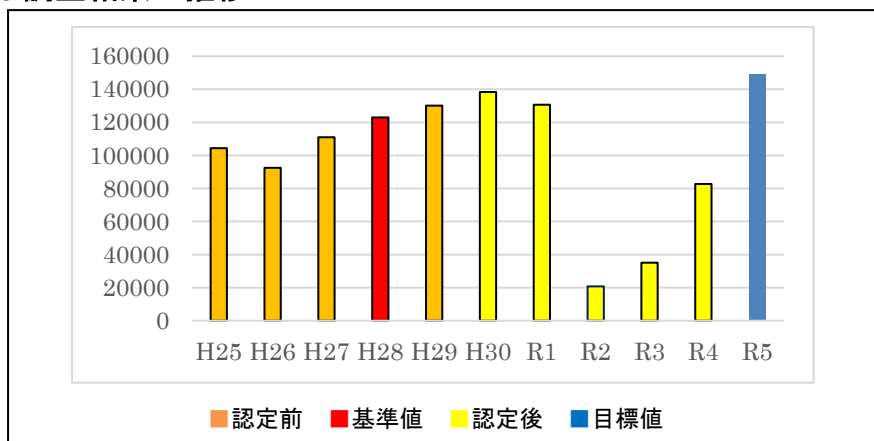
#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

令和2年10月頃から新規出店しようとする動きがみられ、この傾向は続いており、令和2年度に創設した創業を支援する補助制度の効果もあって、空き店舗等を活用して実際の出店に結びついている。今後も空き店舗調査結果と創業支援補助制度を積極活用し、目標達成を目指す。



(2)「特定施設等観光客入込数」※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 68～P. 69 参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H25	104,400
H26	92,500
H27	111,000
H28	123,000
	(基準値)
H29	130,130
H30	138,378
R1	130,677
R2	20,749
R3	35,100
R4	82,724
R5	149,200
	(目標値)

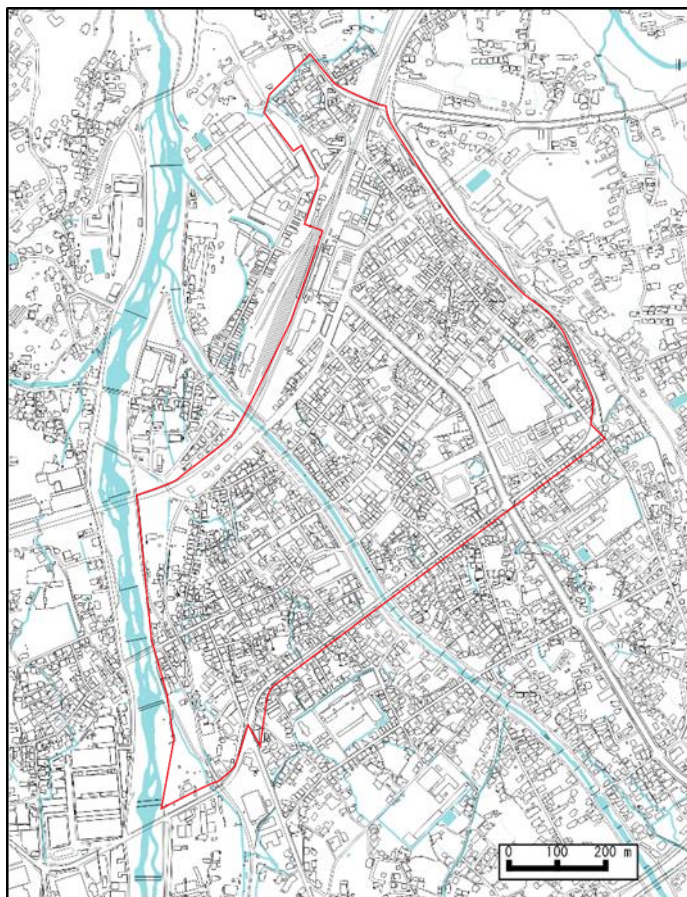
※調査方法：対象イベント及び施設への年間来場者数の合計

※調査月：毎月1回

※調査主体：中津川市

※調査対象：「春・秋の中山道まつり」、「中山道中津川宿六斎市事業」、「中山道歴史資料館」、「まちなか歴史発見散歩事業」、「地域文化資源を活用した体験型観光推進事業」、「間家大正の蔵活用公開事業」、「歴史的資産を活用した町家再生事業」

●調査地点図…(中心市街地の全域が対象)





(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
春・秋の中山道まつり	40,000	42,000	47,000	8,000	9,500	15,000
中山道中津川六斎市	61,000	59,000	45,500	5,000	16,000	51,500
中山道歴史史料館	29,130	35,862	36,217	7,198	9,082	15,392
まちなか歴史発見 散歩事業		95	52	0	0	0
地域文化資源を活用した 体験型観光事業		0	0	0	0	0
間家大正の蔵公開 事業		1,421	1,908	551	518	832
歴史的資産を活用した 町家再生		0	0	0	0	0
合計	130,130	138,378	130,677	20,749	35,100	82,724

### <分析内容>

新型コロナウイルス感染症対策の基準が緩和されイベント等を再開したものの、感染症の影響は強く残っており、まちなか歴史発見散歩事業や体験型観光事業はやむを得ず中止をした。一部イベント再開の効果があり、入れ込み客数は回復傾向にあるが、回復量が予想を下回っており、厳しい状況が続いている。

民間事業者に町家を活用して出店しようとする動きは一度立ち消えとなったが、令和 5 年 2 月頃より再び動きがあり、引き続き注視する。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 春・秋の中山道まつり（六斎市実行委員会・中津川商店街連盟）

事業実施期間	平成 20 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	中津川市内の中山道で行う、商店街が中心となった祭り。商店街が趣向を凝らしたイベントを実施し、集客を目指す。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	【目標値】 44,000 人 【最新値】 15,000 人 中山道中津川宿としての知名度向上に寄与しており、毎月の六斎市と同時開催することで、集客力を高めている。令和 4 年度は新型コ

	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、春・秋ともに規模を縮小して開催となったため、参加者は 15,000 人と感染症発生前の水準にはまだ及ばないものの、令和 3 年度と比較すると大きく回復した。</p>
事業の今後について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響がまだ強く残っているが、魅力的なイベントを企画、広報し、市外からの観光客を取り込むことでにぎわいを増加させる。</p>

②. 中山道中津川宿六斎市事業（六斎市実行委員会・中津川商店街連盟）

事業実施期間	平成 20 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	江戸時代に中津川宿で開かれていた六斎市を、月に 1 回定期的に開催する。各店舗の出店と、毎回異なるイベントの開催により集客を目指す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【目標値】 64,900 人 【最新値】 51,500 人</p> <p>新型コロナウイルスの基準が緩和され、対策を講じながら令和 4 年度は予定どおり 11 回開催した。来場者数は累計で 51,500 人とどまったが、令和元年度の来場者数 45,500 人を上回るなど、回復の兆しが見えてきた。</p>
事業の今後について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響は残っているが、状況をみながら近隣市町村と連携を取り事業を推進する。また、完成する市民交流プラザ（ひと・まちテラス）を活用した事業を展開し、さらなる集客を目指す。</p>

③. まちなか歴史発見散歩事業（まちづくり会社・中津川市）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 5 年度【実施中】
事業概要	まちなかの歴史スポットをガイドとともに巡る歴史散策小ツアーを定期開催し、まちなかを回遊する観光客の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【目標値】 360 人 【最新値】 0 人（新型コロナ感染拡大防止のため中止）</p> <p>ガイドが魅力的な語り口で案内するため、歴史やまち歩きに興味のある参加者が多く集まる人気の事業。複数ある歴史スポット目指して歩き回ること回遊性を高めることを目的としているが、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。</p>
事業の今後について	<p>新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、早期に事業を再開し、課題であるガイドの養成を実施する。</p>

④. 地域文化資源を活用した体験型観光推進事業（中津川商店街連盟・まちづくり会社）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちづくり会社と商店街が連携し、インバウンドを対象にした地域の伝統や文化に触れて体験するツアーを実施し、商店街のにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】120人 【最新値】0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度は事業を中断した。中心市街地エリア内での体験事業として、地酒の試飲しかないため、メニュー追加を検討したがインバウンドの回復が遅れていることから延期した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況と、インバウンドの動向を注視しながら、商店街が中心となり、外国人向けの浴衣体験や琴の演奏など、どのようなメニューが最善か検討したうえで実施し、集客を目指す。

⑤. 間家大正の蔵活用公開事業（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	新たな観光スポットとするため、施設を改修、公開する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】5,185人 【最新値】832人 新たな観光スポットとして改修・公開することで、来場者数の増加を図る。商業的活用として、令和元年度にカフェをイベント（中山道まつり）に合わせて設置した。新型コロナウイルス感染症の影響によりカフェ事業は中止、開館時間も縮小したため、入館者は832人にとどまった。
事業の今後について	新型コロナウイルスに対する基準の緩和により、開館時間等は元に戻る見込みであるが、カフェ事業の再開については、感染症の状況を見極めたうえで、早期の再開を目指す。

⑥. 歴史的資産を活用した町家再生事業（まちづくり会社・中津川市・商工会議所・商店街ほか）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用することで、滞在、滞留する観光客

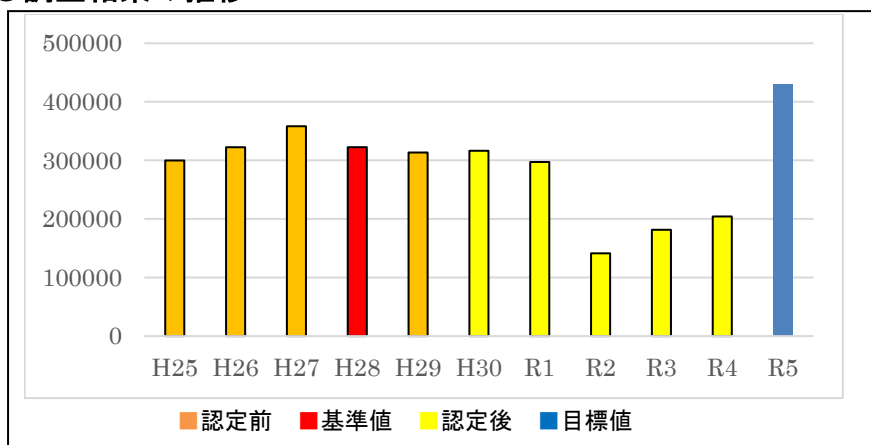
	数の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金(中心市街地再興戦略事業)のうち調査事業(経済産業省)(平成30年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】8,568人 【最新値】0人 中山道を中心とした中心市街地内の町家に関して、令和元年度に地域住民並びに市内宿泊施設利用者(日本人・外国人両方)を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査としてアンケートを実施。結果、カフェのニーズが高いことがわかった。 令和4年度は物件選定に向けた調査を行う予定としていたが、新型コロナウイルスの影響により、中断した。
事業の今後について	ニーズ、マーケティング調査結果を基に、建物所有者との折衝、入居者の募集など、改修に向けて準備を進めていく。 一度立ち消えとなっていたが、町家を購入して飲食店を出店しようとする民間事業者があるため、動向を注視するとともに、必要な支援を検討する。

#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルスの影響により、イベント中止、施設の開放時間縮小などがあり、令和4年度も目標には到底及ばない数値となったが、令和3年度と比べると全体的に回復した。インバウンドの動向が完全に変わってしまったため、現在中断している事業は内容を見直したうえで、再開又は代替事業を実施し、目標達成を目指す。

(3)「都市福利施設利用者数」※目標設定の考え方は認定基本計画P.70～P.72参照

●調査結果の推移



年	(人/年)
H25	299,877
H26	322,501
H27	358,343
H28	322,566 (基準値)
H29	313,494
H30	316,463
R1	297,282
R2	141,351
R3	181,544
R4	204,280
R5	430,000 (目標値)

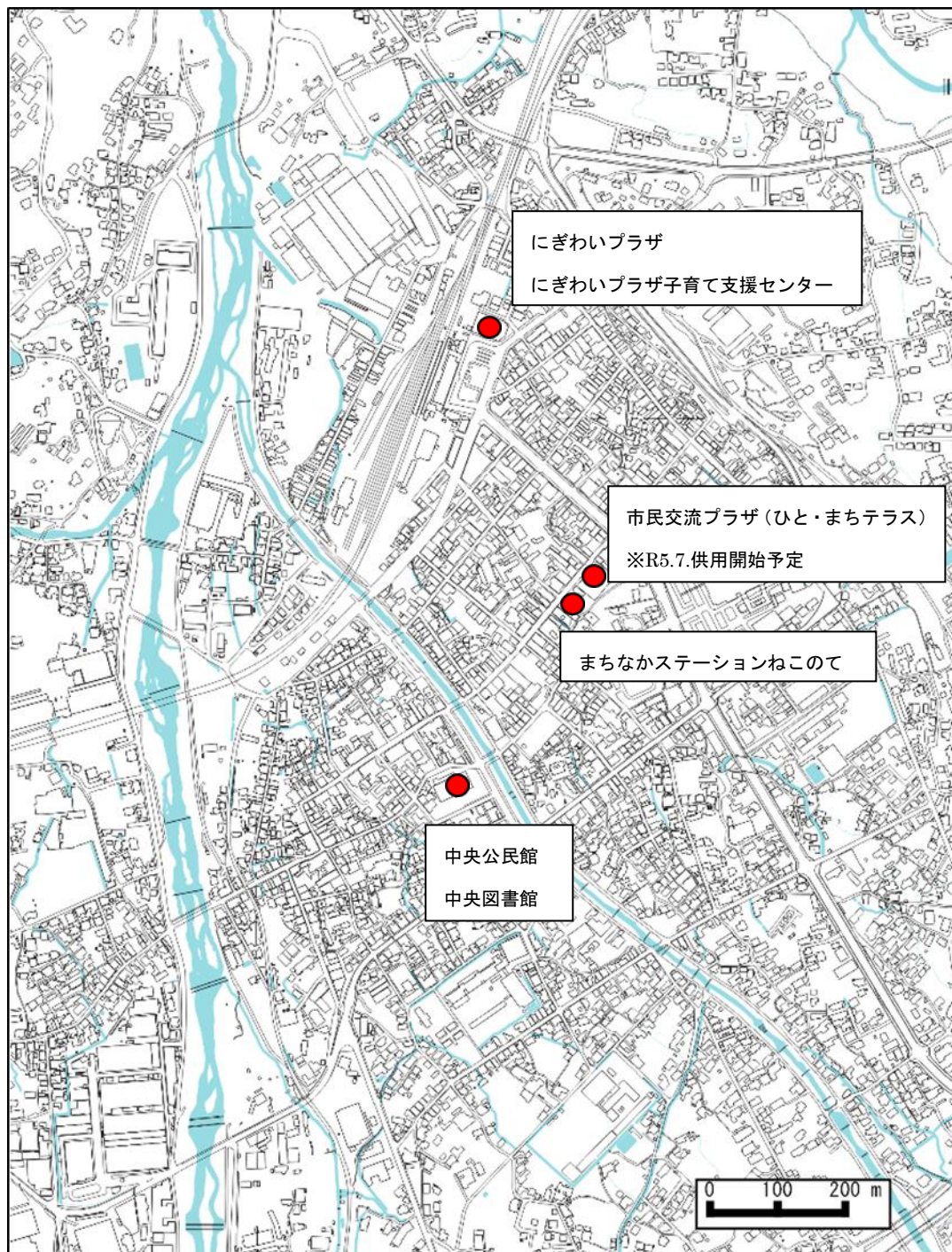
※調査方法：対象施設の年間利用者数を合計

※調査月：毎年3月末

※調査主体：中津川市

※調査対象：「にぎわいプラザ(貸部屋)」、「にぎわいプラザ子育て支援センター」、「中央公民館(貸部屋)」、「中央図書館」「まちなかステーションねこのて」

●調査地点図



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
にぎわいプラザ (貸部屋)	55,037	54,313	51,504	7,934	18,448	23,281
にぎわいプラザ子 育て支援センター	8,941	8,031	7,764	4,406	3,942	4,546
中央公民館	82,389	88,715	77,033	36,977	45,864	62,907



(貸部屋)						
中央図書館	163,941	162,348	157,756	89,900	111,269	111,610
まちなかステーションねこのて	3,186	3,056	3,225	2,134	2,021	1,936
合計	313,494	316,463	297,282	141,351	181,544	204,280

### <分析内容>

令和4年度は県独自の新型コロナウイルス非常事態が出されたこともあり、感染症拡大防止を目的とした施設閉鎖や利用時間短縮が実施されたため、どの施設も利用者数が低い水準となっている。また、にぎわいプラザは施設の老朽化と構造の問題から換気機能の改善ができず、完全に開放ができない状況となっている。

感染症対策基準の緩和に伴い、どの施設も利用者数は回復傾向にはあるものの、回復が感染症発生前の水準に至ってなく、厳しい状況が続いている。

まちなかステーションねこのてでは、軽食提供を取りやめてテイクアウトへの転換を行ったが、時間短縮営業等が長期間続いていることもあり、利用者数は微減にとどまった。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 新町ビル跡地開発事業【子育て支援機能】(中津川市)

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和4年度]
事業概要	子育て支援、観光案内機能等を持ち合わせた複合的都市福利施設の整備を行い、まちなかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業(国土交通省)(令和2年度～令和4年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】18,000人(子育て支援機能分) 【最新値】0人(施設供用開始前) 子、親、祖父母の3世代の交流の場としての機能を備え、多くの市民の快適な居場所となり、街中の賑わいを創出する。年間18,000人の来館者を見込む。市民交流プラザの建設は建築資材の調達遅延のため令和5年5月と若干遅れたものの、予定通り令和5年7月に供用開始予定である。
事業の今後について	令和5年7月の供用開始に向けて準備、調整を実施する。

#### ②. まちなかステーションねこのて事業(中心市街地活性化協議会)

事業実施期間	平成27年度～令和5年度【実施中】
事業概要	親子を対象にした飲食の提供、母親同士のコミュニケーションの場を提供し、子育て支援の拠点となる事業である。

国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【目標値】4,680人</p> <p>【最新値】1,936人</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響もあり、短縮営業を実施した。隣接している市民交流プラザ（ひと・まちテラス）の改修工事の影響で、駐車場が一時的に使用できなくなったこともあり、親子の利用が減少した。運営母体の体制見直しがあり、喫茶事業を取りやめ、テイクアウト販売とイートインスペース設置へ変更を行ったが、営業時間短縮期間が長期にわたっていたこともあり、利用者数は微減にとどまった。</p>
事業の今後について	<p>建設中の市民交流プラザには子育て支援機能が備わるため、重複するが、交流プラザでの子育て機能を補完することを目的として、現在の事業を継続する。</p> <p>新型コロナウイルス対策を目的とする規制が緩和されれば営業時間の増加が見込まれるため、引き続き感染対策を施しながらも親子の交流スペースとして賑わいを創出し、来館者数の増加を図る。</p>

### ③. 新町ビル跡地開発事業【貸施設機能】（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和4年度]
事業概要	子育て支援、観光案内機能等を持ち合わせた複合的都市福利施設の整備を行い、まちなかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和2年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>【目標値】58,976人（貸施設機能分）</p> <p>【最新値】0人（施設供用開始前）</p> <p>市民や団体の活動、各種イベントに活用されることで、年間58,976人の利用を見込んでいる。市民が交流することで、まちなかの人の流れの増加に効果がある。建築資材の納品遅延の影響により、工事は若干遅れが生じたが、予定通り令和5年7月共用開始できる見込みである。</p>
事業の今後について	令和5年度の供用開始に向けて、準備・調整を行う。

### ④. にぎわいプラザ利活用促進事業（中津川市）

事業実施期間	平成20年度～令和5年度【実施中】 [認定基本計画：平成30年度～令和5年度]
事業概要	様々な用途で使える会議室、個展やイベント等が開催できる展示ス

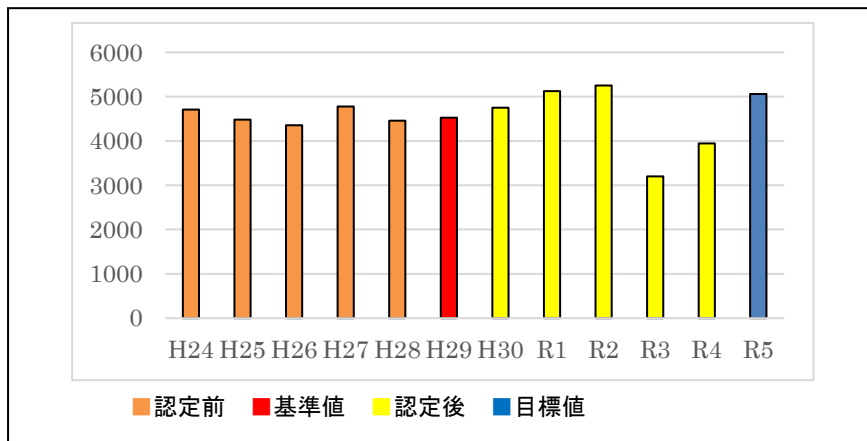
	ペース、オフィススペース等を提供する。市民や団体が利用することで駅前のにぎわいが創出される。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】-人 【最新値】23,281人 新型コロナウイルスの影響により、換気機能が十分ではない会議室の貸し出しを中止した。年間利用者数は23,281人となり、前年度より4,833人上回ったが、令和元年度実績の45%程度であり、新型コロナウイルス感染症の影響が回復しきれていない。
事業の今後について	施設の老朽化が著しく、換気・空調設備が不調となったため、新型コロナウイルス感染症が収束しても貸出を再開できない見込みであるため、市民交流プラザ（ひと・まちテラス）供用開始後は施設閉鎖に向けた準備に移行する。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の一時閉鎖や時間短縮が行われたため、目標数値を大幅に下回っており、非常に厳しい状況ではあるが、旧新町ビル跡地開発事業（ひと・まちテラス建設事業）は、予定通り令和5年7月に供用開始見込みであり、ここを拠点として利用者数の回復を見込んでいる。

（４）「歩行者通行量」※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 73～P. 74 参照

### ●調査結果の推移



年	(人/日)
H24	4,708
H25	4,481
H26	4,354
H27	4,777
H28	4,457
H29	4,525
	(基準値)
H30	4,750
R1	5,124
R2	5,251
R3	3,200
R4	3,944
R5	5,062
	(目標値)

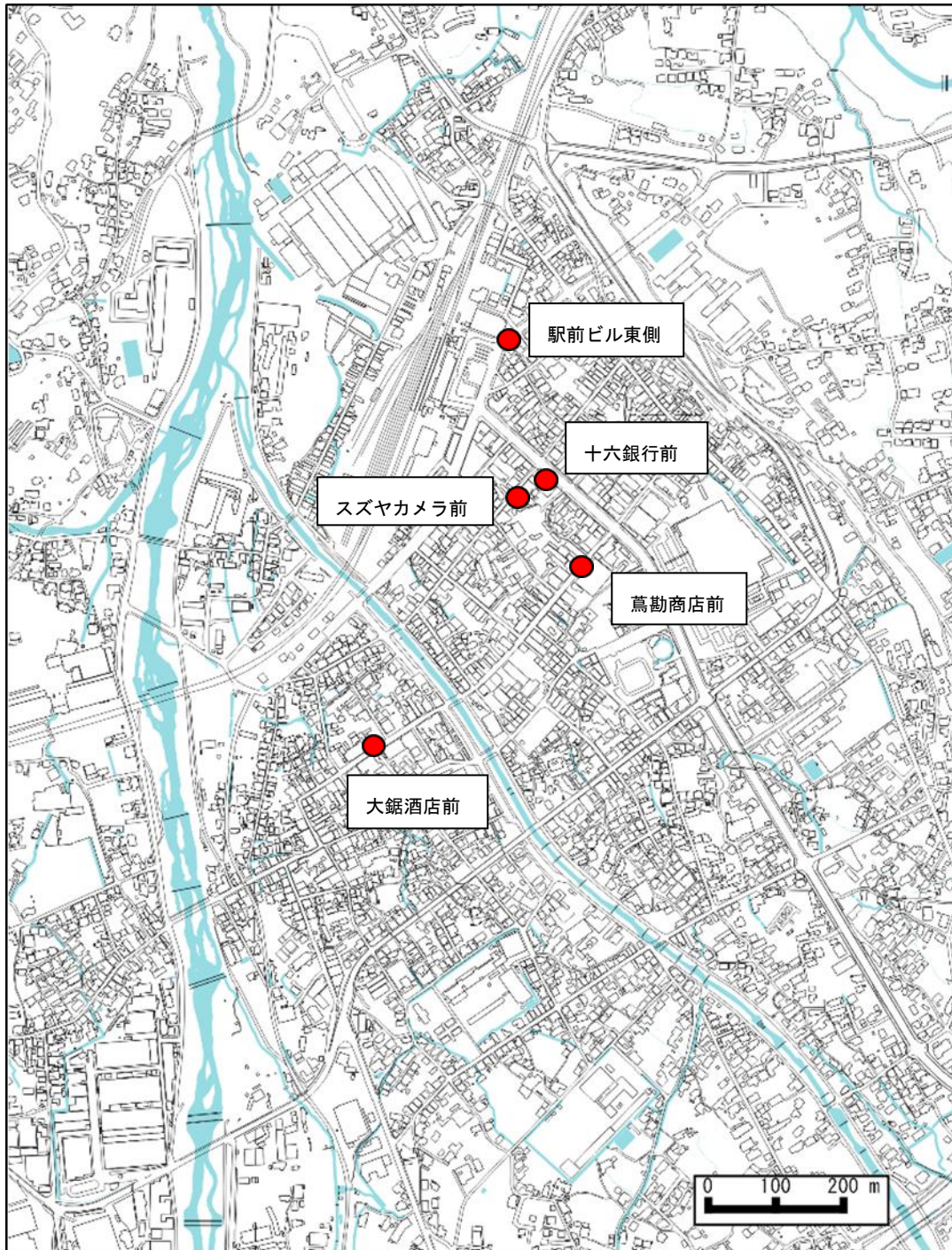
※調査方法：実質測定値

※調査月：毎年9月末（平日）

※調査主体：中津川市

※調査対象：中心市街地内5ヶ所（蔦勘商店前、スズヤカメラ前、十六銀行前、駅前ビル東側、大鋸酒店前）を通行する歩行者

●調査地点図



(単位：人)

	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
鳶勤商店前	654	555	582	498	512	598
スズヤカメラ前	481	410	412	396	313	349
十六銀行前	1,468	1,608	1,769	1,527	1,240	1,609
駅前ビル東側	1,540	1,953	2,052	2,517	914	1,072
大鋸酒店前	382	224	309	313	221	316
合計	4,525	4,750	5,124	5,251	3,200	3,944



## ＜分析内容＞

令和4年度は調査を実施した当日、岐阜県独自の新型コロナ非常事態宣言が出されていたこともあり、基準値を下回ったものの、国の非常事態宣言が出されていた令和3年度と比較するとすべての調査地点で回復した。駅前から大型商業施設に向かう調査地点（十六銀行前）の回復量に比べて、他地点（商店街内部）の回復量が少ないことから、商店街に歩行者が回遊していないことがうかがえる。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. 新町ビル跡地開発事業（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】 [認定基本計画：令和元年度～令和4年度]
事業概要	子育て支援、観光案内機能等を持ち合わせた複合的都市福利施設（ひと・まちテラス）整備を行い、まちなかのにぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和2年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】194人 【最新値】0人（施設供用開始前） 中心市街地の拠点施設として、年間337,651人の利用を見込み、来館者がまちなかに流れ、1日あたりの歩行者数が194人増加すると見込む。施設は令和3年10月に着工。建築資材の納品遅延等により若干完成は遅れたものの、予定どおり令和5年7月に供用開始見込みである。
事業の今後について	令和5年7月の供用開始に向けて、準備を進める。

### ②. 統一案内サイン整備事業（中津川市）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【未】 [認定基本計画：平成30年度～令和5年度]
事業概要	中津川駅前から中山道エリアに至るまでの案内機能を充実させることで、観光客をまちなかへ誘導し回遊性を高める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】15人 【最新値】0人（事業未着手） 案内サイン設置により、外国人観光客のまちなかへの回遊が1日15人増加すると見込む。令和元年度は調査を実施し、令和2年度から事業着手の予定であったが、新型コロナウイルス感染症のため事業を中断していた。しかし、感染症の影響が長期にわたり、インバウ

	ンドの動向が変わったことから、令和4年度に事業そのものを根本的に見直し、今期の実施は見送ることとした。
事業の今後について	駅前から商店街エリアへの動線形成を目的とした事業として、事業を再考する。増加を見込んでいた1日あたりの歩行者数15人は、新町ビル跡地開発事業（ひと・まちテラス建設事業）で吸収する。

### ③. 旧中津川幼稚園跡駐車場整備事業（中津川市）

事業実施期間	令和3年度～令和5年度【実施中】 [認定基本計画：令和3年度～令和4年度]
事業概要	新町ビル跡地開発事業に合わせて駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和3年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】43人（にぎわい広場駐車場整備事業と合わせて） 【最新値】0人（供用開始前） 新町ビル跡地に建設される施設（ひと・まちテラス）利用者の利便性を高め、利用者数を増加させるとともに、まちなかへの回遊性を促進させ、1日あたり43人の歩行者数の増加に貢献する。令和3年10月、ひと・まちテラスの着工に合わせて整備開始した。整備は予定通りに進んでおり、令和5年7月、ひと・まちテラス供用開始と合わせて開始見込み。
事業の今後について	令和5年7月の供用開始に向けて、準備を進める。

### ④. にぎわい広場駐車場整備事業（中津川市）

事業実施期間	令和3年度～令和5年度【実施中】 [認定基本計画：令和3年度～令和4年度]
事業概要	新町ビル跡地開発事業に合わせて駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中支援事業（国土交通省）（令和3年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】43人（旧中津川幼稚園跡駐車場整備事業と合わせて） 【最新値】0人（供用開始前） 新町ビル跡地に建設される施設（ひと・まちテラス）利用者の利便性を高め、利用者数を増加させるとともに、まちなかへの回遊性を促進させ、1日あたり43人の歩行者数の増加に貢献する。今後、イベント広場としての活用も図ることから、ラインを引くなど軽微な整備のみ実施することとし、令和4年度に着手した。令和5年6月完了、令和5年7月、ひと・まちテラス供用開始と合わせて開始見込み。
事業の今後について	令和5年7月の供用開始に向けて、準備を進める。



⑤. 空き店舗対策事業（まちづくり会社・民間団体）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中心市街地に存在する空き店舗や所有者の調査を行いながら、所有者と出店希望者を結び付ける。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】192人 【最新値】256人 令和元年度に実施した空き家等現況調査を基に作成した地図を活用し、令和3年度と令和4年度にデータベースの更新を行い、出店希望者のニーズに合わせた情報提供ができるようになった。また、好評だった「空き店舗ツアー」を2年ぶりに実施したが、実際の出店には至らなかった。
事業の今後について	「空き店舗ツアー」を常設化し、出店希望者と空き店舗等所有者を結びつけ、新規出店を促進させることで、歩行者通行量を増加させる。

⑥. 歴史的資産を活用した町家再生事業（まちづくり会社・中津川市・商工会議所・商店街ほか）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	官民が連携して中津川宿に現存する歴史的建築物を改修し、ゲストハウスや飲食店などとして活用することで、滞在、滞留する観光客数の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地域・まちなか商業活性化支援事業費補助金（中心市街地再興戦略事業）のうち調査事業（経済産業省）（平成30年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】8人 【最新値】0人（事業成果が出ていないため） 中山道を中心とした中心市街地内の町家に関して、令和元年度に地域住民並びに市内宿泊施設利用者（日本人・外国人両方）を対象に、ニーズ調査、マーケティング調査としてアンケートを実施。結果、カフェのニーズが高いことがわかった。 令和4年度は物件選定に向けた調査を行う予定としていたが、新型コロナウイルスの影響により事業を中断した。
事業の今後について	感染症の状況を見ながら早期に事業再開し、ニーズ、マーケティング調査結果を基に、建物所有者との折衝、入居者の募集など、改修に向けて準備を進めていく。 町家を購入して飲食店を出店しようとする民間事業者があり、動向を注視するとともに、必要な支援を検討する。

⑦. トライアルショップ事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	まちづくり会社が休業日の店舗等を借り受け、トライアルショップとして活用することで、新たな出店希望者の掘り起こしと新規出店に繋げる。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】32人 【最新値】16人（令和4年度の実績がないため） まちづくり会社の旧事務所を改装してレンタルオフィス（トライアル企業として短期間のレンタルも可）として小規模事業者に貸し出しを令和4年2月より開始。現在、6区画中4区画が埋まっており、残りの区画も引き合いがある。
事業の今後について	引き続き、トライアルショップに活用できそうな店舗を模索する。

⑧. まちなか通行手形事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	商店街での商品購入の際に、ポイントの付与や優遇特典等を手形として発行する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】43人 【最新値】0人（事業成果が出ていないため） 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和4年度も中断した。令和5年度に整備するデジタルマップのオプション機能として、クーポン機能が搭載されており、機能の活用することで事業実施を目指す。
事業の今後について	デジタルマップのオプション機能を見極めたうえで、商店街への負担を含めて事業実施できるよう調整する。

⑨. まちなか美術館事業（中津川市）

事業実施期間	平成30年度～令和5年度【実施中】
事業概要	中心市街地の商店や公共施設等に市や団体、個人が所有する絵画を展示することで、有名な画家を多く輩出した文化のまちのイメージを高める。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値	【目標値】25人

値及び進捗状況	【最新値】0人（令和4年度は事業中止のため） 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度は中止した。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、早期の再開を目指す。美術に関心のある者が訪れて回遊性が上がり、歩行者数の増加が見込まれる。

⑩. 間家大正の蔵活用公開事業（中津川市）

事業実施期間	令和元年度～令和5年度【実施中】
事業概要	新たな観光スポットとするため、施設を改修、公開する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】34人 【最新値】4人程度（推定値） 大正時代の建築物を展示会や飲食等ができる観光スポットとして整備し、観光客入込数の増加に寄与する。令和元年度はイベント開催時に中庭にカフェを設置したが、以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、閉館や時間短縮があり入館者が大きく減少した。令和4年度は感染症対策の基準が緩和されたこともあり、令和3年度と比べると来館者は回復したものの、感染症発生前の数値には全く及ばない。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症が収束し、イベントに合わせてカフェ設置ができれば集客数が上がり、歩行者数の増加を見込んでいる。

⑪. まちなかステーションねこのて事業（中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成27年度～令和5年度【実施中】
事業概要	親子を対象にした飲食の提供、母親同士のコミュニケーションの場を提供し、子育て支援の拠点となる事業である。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】36人 【最新値】7人程度（推定値） 新型コロナウイルスの影響による休業や時間短縮営業を実施しており、利用者数が減少している。喫茶を廃止してテイクアウト（イートイン）に切り替えるなどの合理化を行い、事業継続を行った。
事業の今後について	隣接するひと・まちテラスの供用開始を見据え、施設の子育て機能を補完するために今後も事業を継続する。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルスの対策基準が緩和され歩行者数は回復傾向にあるが、感染症の影響が強く残っており、回復量は予想よりも少ない状況となっている。

新町ビル跡地開発事業（ひと・まちテラス建設事業）は多少遅れたものの、予定通り令和5年7月に供用開始できる見込みであり、この施設を利用する人が増えることを期待している。また、この施設を拠点にまちなかへの回遊性を高められるよう、絶えず利用者呼び込むためのイベント等を実施していく。